

芦屋町観光基本構想事業評価シート

基本戦略1：芦屋釜をはじめとする歴史・文化を活かした魅力づくり

(1) 町内外での芦屋釜ブランドの認知向上

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30 状況	R1 状況	R2 状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋釜の認知度向上 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋釜は、茶の湯釜の国指定重要文化財9点のうち8点を占めています。その歴史的価値や評価について広く発信することで認知向上を図り、工芸品としてのブランド力を高めます。さらに、それらを生んだ芦屋町に多くの観光客が訪れるよう、観光への活用を図ります。	A	A	C	[実施事業：美術館等の展覧会への出品促進] 実施目標：美術館等の展覧会への出品（作品貸出）・展示を行う。 実施結果： 美術館等の展覧会への出品（作品貸出）・展示を行った。 ・展覧会「鑄金の道 遠藤喜代志作品展」4/27～5/9 ・福岡県アンテナレストラン「福扇華」（東京）10/1～1/31	A	
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ					第1期の達成状況	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	美術館等の展覧会への出品（作品貸出）や展示に取り組み、町内外での芦屋釜ブランドの認知度向上に努めてきた。しかし、外部機関からの依頼に基づくものが主であるため、年度により実施回数、内容にバラつきが生じた。特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、借用を伴う美術館等の展覧会が減少し、美術館等の展覧会への出品等は無かった。 本事業等により、町内外での芦屋釜ブランドの認知度は徐々に向上しているが、さらなる認知度向上に向け取り組みを進める必要がある。		B	
②	芦屋釜に関連した土産品等の開発 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋釜に関連した土産品等の開発を実施し、芦屋町を代表する特産品として販売します。	C	A	C	[実施事業：芦屋鑄物のブランド化推進] 実施目標：芦屋鑄物のブランド化を推進する。 ・独立した鑄物師が製作する鑄物製品の販売形態を整える。 ・鑄物製品（干支・香立・錫盃・印章等）をふるさと納税返礼品に活用する。 実施結果： ・新たに独立した鑄物師が製作する鑄物製品を、芦屋釜の里の土産品として受託販売契約を締結した。 ・新規鑄物土産品として錫盃「佳月」の販売を開始した。 ・鑄物製品（干支・香立・錫盃・印章等）をふるさと納税返礼品に活用した。	A	
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ					第1期の達成状況	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	芦屋釜復興工房で鑄物製品の開発・製作を行うとともに、芦屋鑄物のブランド化を推進し、町内外での芦屋釜ブランドの認知度向上に努めてきた。 鑄物師の独立等もあり、鑄物製品の開発・製作等、目標どおりに実施できない年度もあったが、芦屋町を代表する特産品として、ふるさと納税返礼品への活用等を図った。 引き続き、新たな鑄物製品を開発するとともに、他の鑄物製品と差別化を図るため、芦屋鑄物師の認知度を向上させる取り組み等を行う必要がある。		B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 芦屋釜の里を活用した観光集客

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋釜の里の集客の仕組みづくり 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋釜の里は、観光に対応した文化施設として、情報発信の強化、体験プログラムの企画、イベントの充実を図り、芦屋釜の里への来園を目的とした来訪者の増加を図ります。	状況	状況	状況	<p>[実施事業：旅行会社等への広告宣伝活動] 実施目標：旅行会社等が新たな情報を収集できるよう、プロモーションツールやSNSを充実させる。 実施結果：【達成状況：A】 常に新しい情報（感染症対策を講じたイベント、庭園の開花状況など）をホームページやInstagramに掲載した。※新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行会社等への直接的なアプローチは実施していない。</p> <p>[実施事業：情報発信の推進] 実施目標：ホームページ、Instagram等を活用し、芦屋釜や芦屋釜の里についての周知を図る。 実施結果：【達成状況：A】 ・ホームページを活用し、イベント開催告知及び土産物の紹介等を行った。 ・新たに立ち上げたInstagramを活用し、庭園の開花状況及び工房製作釜並びに鋳物師の紹介等を行った。</p> <p>[実施事業：イベントや体験プログラムの実施] 実施目標：年間を通じて各種イベントを実施する。 実施結果：【達成状況：B】 ・呈茶（重文釜新収蔵記念特別呈茶、水無月特別呈茶、七夕特別呈茶、朝顔呈茶、長月特別呈茶、秋の特別呈茶、クリスマス特別呈茶、新春特別呈茶、梅見特別呈茶、ひなまつり特別呈茶、春の特別呈茶） ・企画展（町制施行130周年記念特別展、秋季企画展、春季企画展※八木氏の工房&ギャラリーオープンに合わせてR4.3.1から実施） ・夏休み園内クイズラリー ・さくらコンサート ※各種茶会、体験型イベント、ギャラリートーク、秋のコンサートは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（茶会の代替として特別茶会を実施）。</p> <p>[実施事業：外国人観光客への対応] 実施目標：園内の表示について、外国語表記を充実させる。 実施結果：【達成状況：D】 外国語表記の多言語化など、園内表示を充実させることができなかった。</p>	B	
	事業数 4	事業数 4	事業数 4	<p>第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ</p> <p>「旅行会社等への広告宣伝活動」「情報発信の推進」「イベントや体験プログラムの実施」「外国人観光客への対応」を実施し、芦屋釜の里を活用した観光集客に努めてきた。新型コロナウイルス感染症の影響により、「旅行会社等への広告宣伝活動」「イベントや体験プログラムの実施」など、十分に取組みできなかった事業もあったが、体験型のプログラム造成や芦屋釜の里のInstagramの立ち上げ等、新たな観光集客につながる取組みを実施できた。また、英語版、中国語版の園内表示を増やし、外国人観光客への対応を図ったが、外国語表記の多言語化には至らなかった。今後は、スマートフォンを活用した音声ガイドアプリ（外国語対応）の導入等を検討し、さらなる観光集客を目指し、様々な取組みを進めていく必要がある。</p>	第1期の達成状況	状況が「C」「D」の場合の理由	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

②	芦屋釜の里を活用した回遊の仕組みづくり			令和3年度実施結果		令和3年度目標の達成状況
	H30 状況	R1 状況	R2 状況			状況 状況が「C」「D」の場合の理由
芦屋釜の里に來園した観光客が町内を回遊し、芦屋町での滞在時間が長くなるよう、食事や買い物、観光スポットの整備、回遊コースの設定など、各所の連携の仕組みづくりを行います。併せて、これらの情報発信についても強化します。	A	A:2	B:2	<p>『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』</p> <p>[実施事業：町内観光施設等と連携した回遊の仕組みづくり]</p> <p>実施目標：通年、各時期で利用できる観光情報（観光施設、食事処等）を収集し来園者に知らせる。町内観光施設や各種イベントと連携した相互割引等を実施する。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の芦屋釜に縁のある観光スポット（歴史の里、響愛の鐘ほか）を紹介したマップを作成し、芦屋釜の里図書室や観光協会に設置した。 ・マリンテラスあしやと連携し、芦屋釜の里来館者に対するランチ・入浴料の割引等のサービスを実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため町内各種イベントが中止され、相互割引は実施できなかった。 <p>[実施事業：あしやナビ協議会への協力]</p> <p>実施目標：あしやナビ協議会の事業に参画・協力する。</p> <p>実施結果：【達成状況：A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あしやナビ協議会の会議に出席した。 ・芦屋釜の里の観光情報を提供した。 		B
	事業数 1	事業数 2	事業数 2			
	A	A	D	<p>『芦屋町観光協会』</p> <p>[実施事業：町内観光施設等と連携した回遊の仕組みづくり]</p> <p>実施目標：なんじゃもんじゃの樹の開花に合わせた出張観光案内所（新型コロナウイルス感染症の状況を見て事業の実施を検討する）</p> <p>実施結果：【達成状況：D】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言が発出されたため、出店を中止とした。</p> <p>[実施事業：芦屋釜を拠点とした町内回遊コンテンツの創出]</p> <p>実施目標：芦屋釜を拠点とした町内回遊事業の実施</p> <p>実施結果：【達成状況：A】</p> <p>芦屋釜を拠点とした新たな体験プログラムとして「特別な日の撮影」、「メモリアルフォト」を事業者と連携して作成した。</p>		
	事業数 1	事業数 1	事業数 1			
				第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況
						状況 状況が「C」「D」の場合の理由
				<p>『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』</p> <p>【達成状況：B】</p> <p>町内観光施設（食事処等）の情報収集や来園者への情報提供、マリンテラスあしやと連携した割引サービス等により、芦屋釜の里を活用した周遊の仕組みづくりに努めた。</p> <p>しかし、町内観光施設や各種イベントと連携した相互割引等の実施には至らなかった。</p> <p>芦屋港レジャー港化の取り組みとして、令和7年度にボートパーク等の開業が予定されているため、改めて町内周遊につながる仕組みづくりに向け、関係機関と協議等、必要な取り組みを実施していく必要がある。</p> <p>『芦屋町観光協会』</p> <p>【達成状況：A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋釜を知るきっかけとして、芦屋釜の里を活用した特別な思い出、記念に残る体験型プログラムを作成した。撮影プランの中には、芦屋町商工会の商品券を付けたことで、町内を周遊するきっかけを作ることができた。 ・情報発信としては、主にあしや体験隊ホームページ、あしや体験隊Instagramで発信を行っているが、申込数が少ないことからPR不足であると考え。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。 ・参加者からの要望として撮影後にお祝い膳を提供してくれる場所や、芦屋町で食事をする場所を知りたい等の声があるため、町内事業者と連携したオプションプランも今後検討していく必要がある。 ・自主事業であるレンタサイクルの町内回遊キャンペーンについて、芦屋釜の里を利用した場合、レンタサイクルの割引の対象事業所となっているため、回遊に繋がっていると考える。 ・なんじゃもんじゃの樹の開花に合わせた出張観光案内所について、リアルタイムな情報を事前に収集し、訪問者にお伝えすることで町内回遊に繋げることができた。 <p>また、平成30年度に出店した際に、当町にボートレースがあるため行ってみたいという方が多かったため、ボートレース芦屋と調整を行い、ゴールデンウィーク期間中のイベント情報のPR、800円分（入場料&指定席料）のチケットの無料配布を実施した。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により、出店を中止とした。今後は新型コロナウイルス感染症の状況を見て事業の実施を検討する。</p>		B

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(3) 芦屋の歴史を活かした魅力づくり

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
		H30 状況	R1 状況	R2 状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
①	芦屋歴史の里の活用 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋町の歴史を知る場である芦屋歴史の里においては、様々な企画展などを通じ、集客拠点の一つとなるような取り組みを推進します。	状況	状況	状況	〔実施事業：企画展の実施〕 実施目標：以下の2つの企画展を実施する。 ①田中繁吉展 家族の肖像展 芦屋出身の洋画家、田中繁吉氏の家族の肖像画を紹介する。 ②矢野倅一展～探求心と技術者の魂～ 芦屋町で生まれ育った、矢野特殊自動車の創業者である矢野倅一氏の業績を顕彰する。 実施結果： ①田中繁吉展（開催期間R3.3.9～8.29）新型コロナウイルス感染症拡大により、臨時休館や会期の変更を行った。 ②矢野倅一展（開催期間R3.10.27～R4.1.30）新型コロナウイルス感染症対策をとったうえでの開催となった。	状況	A	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
					・各年2回の特別展や企画展では、郷土に所縁のある人物や作品を紹介することができた。特に令和3年度は、町制施行130周年記念特別展として、福岡市博物館にある現存している最古の国産自動車アロー号を株式会社矢野特殊自動車協力のもと借用し、福岡市博物館と連携し展示することができた。 ・テレビ放映や新聞に掲載されることもあったが、来館者数を増やすためにも情報発信方法は継続して検討する必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、開催期間中に臨時休館となった時期もあり、公開期間が縮小となった特別展もあった。	状況	B	
②	歴史を活かした町内散策の商品づくり 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋町の豊富な歴史資源を活用し、観光客に楽しんでいただくため、歴史散策ツアーなどを実施します。併せて、歴史ボランティアガイドなど、芦屋町の歴史を伝える人材育成についても検討します。	状況	状況	状況	〔実施事業：歴史資源を活用したイベントの実施〕 実施目標：以下の2つの歴史資源を活用したイベントを実施する。 ①化石探検 洞山周辺の海岸で化石を探す。 ②郷土史跡めぐり 芦屋に所縁のある人物や場所に関連した史跡を散策しながら解説する。 実施結果：化石探検は、実施できたが、郷土史跡めぐりは、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため、開催中止となった。	状況	B	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
					・様々な郷土史跡や地層群など、歴史的資源を活用した企画イベントやツアーについて、継続して実施することができた。 ・活動内容が主に散策やフィールドワークのため、天候に影響を受けることが課題である。また、幅広く新規の参加者を募り、多くの人に参加してもらえるための検討が引き続き必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした事業もあった。 ・歴史ボランティアガイドについては、未着手であるが、今後、郷土史研究会などの団体と協議を行うことを検討している。	状況	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略2：芦屋の素材を活かした食の魅力づくり

(1) ”あしやんいか”の認知向上、ブランド化

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
①	”あしやんいか”のブランド化推進 所管課・係：産業観光課 農林水産係 ”あしやんいか”をブランド化するため、ロゴマークや名称の普及を図ります。また、町内飲食店においてイカ料理の提供を促進します。	状況	状況	状況	[実施事業：ロゴマーク・名称の普及促進] 実施目標： ・ロゴマーク・名称の使用希望者にのぼりの提供等を実施する。 ・あしやんいかのブランド化推進の方向性について漁協と協議を行う。 実施結果： ・ロゴマーク・名称使用の希望者なし。 ・遠賀漁協への聞き取りを実施した。	C		
		D	B	B	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況		
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	あしやんいかの販路については、漁獲量の減少の理由等により、あしやんいかに特化した販路拡大に向けた新規開拓は実現していない。ブランドを残したいとする思いはあるが、具体的な方策は見つかっていない。販路拡大に向け、今後、遠賀漁業協同組合や各関係機関との連携強化を図る。	C	福岡県産釣りイカブランドである「一本槍」との棲み分けが出来ずあしやんいかブランドのロゴマーク、名称使用に関する新規開拓は出来なかった。	
②	”あしやんいか”を活用したイベントの実施 所管課・係：産業観光課 商工観光係 町内飲食店が”あしやんいか”オリジナルメニューを提供する期間限定イベント「あしやんいかフェア（仮称）」の開催を検討します。 期間中は食べるのみならず、販売施設において、さばき方を教えるなどのイベント実施も併せて検討します。	状況	状況	状況	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
					—	—		
					第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況		
					・平成27年から実施している「芦屋N o 1プロジェクト」の中で、プロジェクト推進に向けた推進体制の整備を行い、水産施策展開等の事業を実施しているため、あしやんいかに特化したイベントを検討しなかった。			

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 農水産物を活用した食・特産品の魅力づくり

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	<p>地域食材を活用した特産品・食メニューの開発及び魅力向上</p> <p>所管課・係：芦屋町商工会</p> <p>芦屋町の農作物（赤じそ、ネギなど）、水産物（イカ、アジ、イワシなど）を使った特産品や飲食店などで提供する食メニューの新たな開発を推進します。</p> <p>また、既存の特産品について、生産者のこだわり、製法の特徴などのセールスポイントを明確にし、商品デザインやパッケージを再検討するなど、商品の魅力向上を図り、ブランド化を推進します。併せて、埋もれた郷土料理についても芦屋町の重要な文化と捉え、復興を図ります。</p>	状況	状況	状況	<p>【実施事業：特産品開発プロジェクトの推進】</p> <p>実施目標：新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、地域経済の担い手である町内事業者の事業継続に向けた支援を強化する。その中で、町制130周年を迎える芦屋町の新たな特産品の開発など、新型コロナウイルスの影響下にあっても地域経済の活性化に向けた取り組みを推進する事業者に対して、本会「特産品等開発プロジェクト」事業を中心とした支援を実施したいと考えている。</p> <p>実施結果：【達成状況：B】</p> <p>福岡県北九州中小企業振興事務所の仲介もいただき、R3.6.22～7.18の期間限定で、太宰府市にある九州国立博物館内ミュージアムショップで、芦屋釜関連の特産品等の販売を実施。芦屋町が令和3年度に町制130周年の節目でもあったことから、芦屋町（産業観光課、生涯学習課）の協力もいただき、芦屋町のPR販促物も作成し、全国から来場される観光客等に芦屋町の特産品等を中心に積極的なPRに努めた。</p> <p>【実施事業：「さわらサミット」への参画及びさわらを基軸としたメニュー開発促進】</p> <p>実施目標：新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、飲食店等を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況であるため、芦屋町の「さわらサミット」の開催状況等を踏まえ、実現可能な取り組みについて事業推進を検討する。</p> <p>実施結果：【達成状況：D】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度も、「さわらサミット」自体の開催は行われなかったが、鰯が旬の時期を迎える冬季に、鰯料理の提供を行う飲食店を増やすため、芦屋町産業観光課の方とともに町内飲食店への巡回訪問による広報PRに向けた取り組みを実施した。</p>	C	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、とりわけ飲食店等を取り巻く経営環境は大変厳しい状況であったため、鰯サミットの開催は行われなかったが、飲食店への巡回訪問等により、鰯の普及促進に向けた取組みの実施を図った。</p>
	<p>事業数 2</p>	<p>事業数 2</p>	<p>事業数 2</p>	<p>第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ</p> <p>【特産品開発プロジェクトの推進】</p> <p>H30においては、芦屋釜の里&旬カムカンパニーの共同企画による「芦屋釜ろん」、八木鋳金&パルセイユ㈱のコラボ企画による「物かたり」の開発を実施</p> <p>R1においては、八木鋳金&パルセイユ㈱の共同企画による「あしや釜チョコ」の開発を実施し、またこの頃より松本市との共同企画が具体的に実施され始めた。</p> <p>R2においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きな動きが出来なかった。</p> <p>R3においては、九州国立博物館内ミュージアムショップにおいて、芦屋町の特産品を販売する企画が実行された。</p> <p>【「さわらサミット」への参画及びさわらを基軸としたメニュー開発促進】</p> <p>H30においては、「さわらサミット」を開催できたものの、不漁の影響もあり、安定供給への課題が浮き彫りになった。</p> <p>R1においては、水産加工品のラインナップはある程度充実していたが、飲食店におけるメニュー開発は昨年からの不漁の影響もあり思うような取り組みが出来なかった。</p> <p>R2においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「さわらサミット」が中止となり、活動ができなかった。</p> <p>R3においても、R2同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「さわらサミット」は中止となったが、巡回訪問にて広報PRに向けた取り組みを実施した。</p>	<p>第1期の達成状況</p>	<p>状況</p>	<p>状況が「C」「D」の場合の理由</p>

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

特産品・食メニューを集約した販路の構築 所管課・係：芦屋町商工会,産業観光課 農林水産係	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
開発、魅力向上させた特産品や食メニューについて、町内の各施設で「特産品コーナー」を設けるなどの販路を構築していきます。併せて、町外への販路拡大を目指します。	A:3	A:3	C:2	<p>【芦屋町商工会】 [実施事業：展示・商談会等への出展] 実施目標：新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、現時点では、展示・商談会等の開催状況が極めて不透明な状況であるため、新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、出展事業者に対する後方支援に取り組みたいと考えている。 実施結果：【達成状況：B】 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、積極的な展示・商談会への出展支援は実現できなかったが、福岡県北九州中小企業振興事務所の仲介を受け、R3.6.22～7.18の期間、九州国立博物館内のミュージアムショップで芦屋町特産品のテスト販売を行った。</p> <p>[実施事業：近隣市町村等への営業活動の推進] 実施目標：新型コロナウイルスの感染状況等を注視しながら、福岡県や芦屋町及び福岡県商工会連合会等と情報共有を図りながら、域外への特産品等の新たな販路開拓に向けた取組みを推進する。 実施結果：【達成状況：B】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、近隣市町村等への積極的な営業活動の推進は思うように進められなかったが、福岡県等との連携により遠賀郡内の地域資源を活用した新商品開発や、北九州市を始めとした近隣市町村等への販路開拓に繋げることができた事業者もあった。</p> <p>[実施事業：県外への特産品販路開拓に向けた取組みの推進] 実施目標：新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言が発出されるなど、現時点で県をまたぐ人の往来等を中心とした営業活動は困難な状況であるため、松本市や他の県外地域の地域資源等を活用した新商品開発など（ビジネスマッチング含む）実施可能な取組みの推進に努める。 実施結果：【達成状況：A】 R3.12.22～12.23の期間に、本会特産品等開発プロジェクトの参画事業者である石鹸・化粧品等製造業者と長野県松本市への訪問を行い、松本市のゼロカーボンへの取組みと連携した新商品開発企画に係る商談を実施。</p>	B	
	事業数 3	事業数 3	事業数 2			
	H30	R1	R2	<p>【産業観光課 農林水産係】 [実施事業：提供可能な農産物等の紹介] 実施目標：各種イベントや農産物の販売実施希望者と条件整理等を行ったうえで、各農事組合と連携し提供可能な農産物等の紹介を行う。 実施結果：【達成状況：C】 コロナ禍で各種イベントが非開催となり事業実施できなかった。農水産物の販売を実施したい生産者と出展等に係る条件を整理する必要がある。</p> <p>[実施事業：販路拡大に向けた情報の提供] 実施目標：販路拡大意向調査の結果に基づき、対象者に向けた講習会や拡大成功例、購入希望事業者等の有益情報を随時提供する。 実施結果：【達成状況：B】 計画通り農地台帳補完調査により販路拡大の意向のある農業者を調査したが、有益な販路拡大情報の提供は出来なかった。</p>		
A:1 B:1	B:2	B:1 C:1	事業数 2	事業数 2	事業数 2	

②

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略3：まつり・イベントを活用した集客と知名度の向上

(1) 既存イベントの集客力向上

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30 状況	R1 状況	R2 状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	各イベントの連携及び集客 所管課・係：産業観光課 商工観光係	B	B	C	【実施事業：各種イベントの連携】 実施目標：砂像展及びさわらサミットでの双方のイベントの効果的なPR方法を検証し、実施する。 実施結果：集客力の高い砂像展において、4か月後に開催予定であるさわらサミットのイベント告知及びPRを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で双方のイベントが中止となったため、PRは実施できなかった。なお、来年度以降も引き続きPR方法の検討を行う予定としている。	C	令和3年度目標の達成状況
	状況						状況が「C」「D」の場合の理由
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	
					・砂像展と祭りあしやの同時開催を行い、相互の来場者アップに繋がった。 ・砂像展とさわらサミットの双方イベントでのPRについては、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止(R2～R3)により実施できなかった。	B	状況が「C」「D」の場合の理由
②	各イベントにおける特産品の提供促進 所管課・係：産業観光課 商工観光係	A:1 B:1	A:2	D:2	事業数：1（事業を統合した） 【実施事業：イベントにおける町内事業者の出店促進】 実施目標：あしや砂像展及びさわらサミットにおいて、町内出店事業者の誘致を促進する。 実施結果：砂像展及びさわらサミットでの双方のイベントの効果的なPR方法を検証し実施することを目標に、あしや砂像展及びさわらサミットにおいて町内出店事業者を誘致することを検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響で全てのイベントが開催できなかった。代替として、令和3年度は町内の機運醸成と認知度向上を図るため、さわらの紹介とさわら料理を提供する店舗の紹介を広報あしやに折込チラシで周知した。また、のぼりを作成しさわら料理提供店舗に設置した。	B	令和3年度目標の達成状況
	状況						状況が「C」「D」の場合の理由
	事業数 2	事業数 2	事業数 2	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	
					・令和2年度までは、実施事業を[イベントにおける特産品の提供促進]と[イベントにおける町内事業者の出店促進]の2つを実施した。 ・[イベントにおける特産品の提供促進]について、さわらサミットにて漁協やJA青年部と連携し、さわら切り身や農産物を販売した。新型コロナウイルス感染症の影響でイベント実施ができなかった際は、事業も実施できなかった。漁業者の意識向上へ働きかけを行ない事業者数を増やす必要があるため、令和3年度から[イベントにおける町内事業者の出店促進]に統合した。 ・[イベントにおける町内事業者の出店促進]として、あしや砂像展の飲食店やさわらサミット及びさわらフェアで町内事業者を誘致した。	B	状況が「C」「D」の場合の理由

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

各イベントの情報発信の充実	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
所管課・係：芦屋町観光協会、産業観光課 商工観光係、企画政策課 地方創生推進係 イベント情報を時期毎に集約して広報するなど、効率的かつ効果的な情報発信を行うことで、各イベントの集客増加を図り、町全体での交流人口の増加につなげます。	A	A	D	『芦屋町観光協会』 【実施事業：あしやナビ「ガイドブック」の更新】 実施目標：コロナ禍においても実施できる、あしやナビ事業の検討が必要。 実施結果：【達成状況：B】 ・簡易的な観光案内所に登録された店舗へは、毎年イベント情報を月毎に取りまとめたガイドブックを作成し配布を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等の開催日が直前にしか決定しないものが多かったことからガイドブックの作成が困難であった。 ・コロナ禍においても実施できる事業として、あしやナビ協議会がおすすめする春夏秋冬のモデルコースを作成し、WEB上に公開した。	B		
	事業数 1	事業数 1	事業数 1				
	H30	R1	R2				
	A	A	D	『産業観光課 商工観光係』 【実施事業：効果的な情報発信】 実施目標：①「あしや花火大会」周知：広報掲載、チラシ折込、IP・SNS・ブログ掲載 等 ②「あしや砂像展」周知：広報掲載、チラシ折込、HP・SNS・ブログ掲載の更新、他イベント出店によるPR等 ③「祭りあしや」周知：広報掲載、チラシ折込、IP・SNS・ブログ掲載 等 ④「さわらサミット」周知：広報掲載、チラシ折込、HP・SNS・ブログ掲載の更新、他イベント出店によるPR等 実施結果：【達成状況：C】 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が実施できなかったため、イベント情報は発信出来なかったが、観光協会とも連携しSNSを活用した観光情報の発信に努めた。			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1				
	H30	R1	R2				
	B	C	B	『企画政策課 地方創生推進係』 【実施事業：戦略的情報発信プロジェクト】 実施目標：利用者が見やすく、PR効果の高い運用方法を検討のうえ、お知らせページやAshiya Town Tubeへの動画投稿などの更新頻度を上げ、効果的な情報発信に努める。 実施結果：【達成状況：B】 利用者が見やすく、PR効果の高い運用方法として、現在の観光情報サイトを廃止し、新たにシティプロモーションサイトを立ち上げる案を検討した。 令和3年度は新型コロナの関係で、サイトの更新はイベント中止等のお知らせが主となった。			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1				
					第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					『芦屋町観光協会』 【達成状況：B】 ・平成29年度からあしやナビ事業「簡易的な観光案内所の設置」を実施しており、町内の事業所を中心に簡易的な観光案内所としての登録を促した。登録した店舗へは観光案内用として、イベント、町内施設、飲食、宿、土産品情報等を掲載したガイドブックを作成し観光案内に利用いただいた。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等が中止となったため、ガイドブックの作成は行わなかった。 ・令和3年度にコロナ禍においても実施できる事業として、あしやナビ協議会がおすすめする春夏秋冬のモデルコースを作成し、WEB上に公開した。 ・芦屋町観光協会の公式サイト、有料WEBページ（旅色）にて、芦屋町のイベント情報、景観地の情報掲載を行った。 ・リアルタイムな情報発信としては、SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）を活用した情報発信を実施。 ・芦屋海浜公園の指定管理者であることから、芦屋海浜公園内で実施される他団体イベントの情報をメディアへ情報提供を実施した。 ・芦屋海浜公園レジャープールの来場者が多いことから、デジタルサイネージ（電子看板）を設置し、町内イベント、飲食店情報を中心に情報掲載を行った。	B	
					『産業観光課 商工観光係』 【達成状況：B】 ・広報あしや、HP及びSNS等を活用して、各イベント情報を効果的に発信した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベント実施ができなかった年は、観光協会とも連携しSNSを活用した観光情報の発信に努めた。 ・今後も効果的に活用し、さらにブログ（あしやメディア）も活用する。		
					『企画政策課 地方創生推進係』 【達成状況：B】 ・地方創生加速化交付金を活用して、平成28年度に芦屋町情報発信プロジェクトとして、動画製作・webコンテンツ製作（観光情報サイト）・リーフレット制作・町民向け情報発信仕組みづくり調査研究を行った。 ・令和2年度から3年度については、新型コロナの影響によりイベントが実施できなかったこともあり、効果的な情報発信が行えていない。		

③

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
 C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 町の魅力を活かしたイベントの創出

No.	展開する取り組み項目 事業概要	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	海岸線・海の魅力を活かしたイベントの開催 所管課・係：産業観光課 商工観光係	A	A	C	[実施事業：夏井ヶ浜はまゆう公園におけるイベントの誘致] 実施目標：公園利用における効果的なPR方法を検討し、はまゆう公園での催し物等を誘致する。 実施結果：新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的なPRを検討したが実施できなかった。観光公園利用申請があった際は感染対策等確認し受付をおこなった。	C	新型コロナウイルス感染症対策で対外的なPRはできなかった
	芦屋海岸、夏井ヶ浜、洞山など、海の魅力を活かしたイベントの創出や音楽イベントなどの誘致について、実施主体や手法を含めた検討を行います。				第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況
	事業数 1				事業数 1		事業数 1
②	地域の魅力を活かしたイベントの再開 所管課・係：産業観光課 商工観光係	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	これまで休止や中止に至ったイベントについて、その理由を検証し、実施規模や実施方法などの再検討を行います。	完了	完了	完了	完了 (砂像展再開)	—	
	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	・平成26年から砂像展を再開し事業達成のため完了。	A			
③	地域資源を活かしたイベントの創出 所管課・係：産業観光課 商工観光係	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	地域資源を活かした新たな魅力創出のための調査研究を行い、芦屋町らしいイベントの創出を検討します。	B	A	C	[実施事業：さわらサミットの実施] 実施目標：新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、さわらサミットを実施する。 実施結果：新型コロナウイルス感染症感染拡大のため「さわらサミット」は中止したが、さわらの普及を継続していくため、さわらの紹介とさわら料理を提供する店舗の紹介を広報あしやに折込チラシで周知した。また、のぼりを作成しさわら料理提供店舗に設置した。	B	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	・平成28年度から令和元年までの4年間、地域資源である”さわら”を活用した「さわらサミット」をポートレース芦屋場内で実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で「さわらサミット」の実施ができなかった際は、「さわらフェア」のみを実施し、広報紙に折込チラシにて周知PRやのぼりの作成・設置等、コロナ禍でも行える事業を実施した。	B

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略4：地域資源を活かした観光の魅力づくり

(1) 町内回遊のための魅力づくり

No.	展開する取り組み項目 実施概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	ウォーキング・サイクリング・ドライブ等の魅力向上 所管課・係：芦屋町観光協会、産業観光課 商工観光係	状況	状況	状況	『芦屋町観光協会』 [実施事業：サイクリングを活用した観光ガイド事業] 実施目標：サイクリングを活用した観光ガイド事業の実施 実施結果：【達成状況：A】 ・事前申し込みで通年実施できる観光ガイドによるサイクリングツアー「海街・芦屋サイクリング」を作成した ・コース上の必要箇所にサイクルスタンドを設置した（芦屋釜の里、洞山） ・令和4年度に電動自転車を導入（モニターツアーの際に出た意見を反映）	A	
	ウォーキングやサイクリング、ドライブなど、観光客の移動手段に応じた芦屋町の見所や回遊ルートの設定を行い、それを周知することで、町内回遊客の増加を図ります。	A	A	A			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	[実施事業：レンタサイクル町内回遊キャンペーン事業] 実施目標：新規店舗の加入促進とパンフレットの刷新 実施結果：【達成状況：A】 新型コロナウイルス感染症の影響により店舗の営業日が不安定であることからパンフレットの印刷は未実施。昨年度使用していた町内回遊キャンペーンの増刷を行い、事業を実施した			
	ウォーキングやサイクリング、ドライブなど、観光客の移動手段に応じた芦屋町の見所や回遊ルートの設定を行い、それを周知することで、町内回遊客の増加を図ります。	状況	状況	状況	『産業観光課 商工観光係』 [実施事業：周遊マップの周知・活用] 実施目標：筑前玄海地域観光推進協議会において作成した「ご朱印で巡る筑前玄海エリアゆる旅ガイド」を更に活用し、町内回遊客増に繋げていく。 実施結果：【達成状況：A】 筑前玄海地域観光推進協議会において作成した「ご朱印で巡る筑前玄海エリアゆる旅ガイド」をガイド掲載店舗、岡湊神社及び観光協会等に配架継続し、周知を図った。	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1				
第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ					第1期の達成状況		
					状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
『芦屋町観光協会』 【達成状況：A】 [サイクリングを活用した観光ガイド事業] ・福岡県内で芦屋町のみが常時予約可能となっている。 ・現在2名のガイドで実施しており、どちらも全国通訳案内士の資格（英語、中国語）を保有している。今後は町内者でガイドする方を増やしていくことと、外国語対応を検討していく。 ・情報発信としては、主に町内主要施設へのポスター掲示、あしや体験隊ホームページ、SNSによる発信を行っているが、申込数が少ないのが現状である。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。 ・サイクリング愛好家が観光地に立ち寄りやすいよう芦屋釜の里、洞山にサイクルスタンドを設置した。今後はサイクリング愛好家へヘアリングを行い、サイクリング愛好家が立ち寄りやすいようサイクルスタンドの設置等を推進していく。 [レンタサイクル町内回遊キャンペーン事業] ・平成30年度から開始した同キャンペーンは年々利用者が増加してきており、町内を周遊するきっかけとなっている。 ・今後は、同キャンペーンに参画する店舗を増やし、レンタサイクル利用者が芦屋町の店舗を周遊するよう事業を継続していく。 『産業観光課 商工観光係』 【達成状況：A】 ・筑前玄海地域観光推進協議会において作成した周遊マップ「ご朱印で巡る筑前玄海エリアゆる旅ガイド」を活用し、ガイド掲載店舗、岡湊神社や観光協会等に設置し町内回遊客増を図った。また、同協議会にて雑誌「シティ情報ふくおか」へ筑前玄海エリア紹介記事を掲載し、PRを行った。					A		

達成状況 AA：(当初の計画を前倒して推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

②	商店街における賑わいの創出			令和3年度実施結果		令和3年度目標の達成状況	
	所管課・係：芦屋町商工会、産業観光課 商工観光係	H30 状況	R1 状況	R2 状況	状況	状況が「C」「D」の場合の理由	状況が「C」「D」の場合の理由
商店街において、イベントの実施や観光客が散策できる仕組みづくりを行い、賑わいを創出します。 さらに、訪れた人が商店街を楽しむことができるような取り組みについても検討を進めます。	B	A	C	『芦屋町商工会』 【実施事業：「筑前あしやはしご酒祭り」の企画】 実施目標：新型コロナウイルスの感染状況等を注視し、開催の有無について検討を図る。 実施結果：【達成状況：D】 新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される為、開催が困難であったため未実施。		B	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1				
	H30 状況	R1 状況	R2 状況	『産業観光課 商工観光係』 【実施事業：芦屋町空き店舗等活用事業補助金の活用推進】 実施目標：広報やホームページを利用して、「空き家バンク」と同様に空き店舗の情報を収集し公表していく 実施結果：【達成状況：A】 空き店舗の情報を収集、不動産事業者を訪問し実態の調査をおこなった。広報、ホームページ公表は令和4年度予定。 [実施事業：芦屋町創業促進支援事業補助金の活用推進] 実施目標：町内での新規創業を促進するため、引き続き芦屋町商工会と連携して「芦屋町創業促進支援事業補助金」の活用推進を図る。 実施結果：【達成状況：A】 町内での新規創業を促進するため、芦屋町商工会と連携してチラシ等により「芦屋町創業促進支援事業補助金」の活用推進を図った。 [実施事業：さわらフェアの実施] 実施目標：フェアについては、町内店舗に絞り、町民に鯨が提供できるように実施する。 実施結果：【達成状況：B】 新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施できなかった。代替案として鯨料理を提供してくれる店舗（17店舗）を掲載したチラシを作成し広報にて配布、提供店舗にのぼりを配布した。			
B:3	A:2 B:1	A:2 C:1					
事業数 3	事業数 3	事業数 3					
第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ					第1期の達成状況		
					状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
『芦屋町商工会』 【達成状況：C】 H30においては、町内26店舗において「1,000円はしごの旅」を実施し、延べ約600名強を呼ぶことができた。 R1においては、「筑前芦屋はしご酒祭り」を開催し、約400名を呼ぶことができた。 R2においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントの中止を余儀なくされ、活動ができなかった。 R3においても、R2同様新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動ができなかった。					B		
『産業観光課 商工観光係』 【達成状況：B】 ・芦屋町商工会と連携して、「芦屋町空き店舗等活用事業補助金」交付に関する事務を遂行した。また、「空き店舗バンク」を令和4年度にホームページにて周知予定。今後も更にPRを図る。 ・芦屋町商工会と連携して、「芦屋町空き店舗等活用事業補助金」事務を遂行し、チラシを作成し活用促進を行った。新規申請もあり、今後も新規創業希望者の相談対応を強化するとともに、おなが創業支援で実施している新規創業セミナー等も活用していく。 ・さわらサミットに伴う町内店舗に向けた経済波及効果を創出する取り組みとして、「さわらフェア」を実施した。今後実施する際は、町内店舗に絞り、町民にさわらが提供できるように実施する。							

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

③	施設間連携による町内回遊の仕組みづくり	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	所管課・係：芦屋町観光協会	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
	町内各施設において、町内回遊の案内やパンフレットの相互配置をするなど、各施設の連携を進めます。	A	A	D	[実施事業：あしやナビ事業「簡易的な観光案内所の設置」の推進] 実施目標：コロナ禍においても実施できる、あしやナビ事業の検討が必要。 実施結果： ・簡易的な観光案内所に登録された店舗へは、毎年イベント情報を月毎に取りまとめたガイドブックを作成し配布を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等の開催日が直前にしか決定しないものが多かったことからガイドブックの作成が困難であった。 ・コロナ禍においても実施できる事業として、あしやナビ協議会がおすすめする春夏秋冬のモデルコースを作成し、WEB上に公開した。	B	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1		第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況
				・平成29年度から町内の事業所を中心に簡易的な観光案内所としての登録を促した、登録した店舗へは観光案内用として、イベント、町内施設、飲食、宿、土産品情報等を掲載したガイドブックをお渡しした。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となったため、ガイドブックの作成は行わなかった。今後は新型コロナウイルス感染症によりイベント実施が事前にわからないものが多いため、ガイドブックを継続して作成するか一考する必要がある。令和3年度にはコロナ禍においても実施できる事業として、あしやナビ協議会がおすすめする春夏秋冬のモデルコースを作成し、WEB上に公開した。	B		
芦屋の思い出の品づくり	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
所管課・係：芦屋町観光協会	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
食の特産品だけではなく、芦屋町の地域資源を活用した土産品づくりを実施します。 さらに、観光客の町内回遊に繋がるよう、町内の限られた場所でしか手に入らない土産品等の開発や掘り起しなどを進めます。	A	D	C	[実施事業：芦屋町オールロケ映画を活用した町内回遊事業] 実施目標：映画を活用したPR、ロケ地巡礼の促進 実施結果：【達成状況：A】 ・映画スタンプラリーのパンフレット作成 ・映画スタンプラリーの実施は令和4年4月よりスタートすることとした [実施事業：あしやナビ事業「観光モデルコース」の作成] 実施目標：モデルコースを4コース以上作成し、WEB上に公開する 実施結果：【達成状況：A】 春夏秋冬のモデルコースを作成し、WEB上に公開した [実施事業：芦屋釜の里と連携した体験プログラムの創出] 実施目標：芦屋釜の里と連携した体験プログラムの創出 実施結果：【達成状況：A】 芦屋釜を拠点とした新たな体験プログラムとして「特別な日の撮影」、「メモリアルフォト」を事業者と連携して作成した	A		

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

④	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋町映画を活用したスタンプラリー事業を令和4年度より実施、スタンプを集めた参加者には、抽選で芦屋町ブランド認定品が当たるキャンペーンを実施。 ・ あしやナビ協議会にて春夏秋冬のモデルコースを作成した。今後は作成したモデルコースをどのように周知させるかが課題である。 ・ 芦屋釜を知るきっかけとして、芦屋釜の里を活用した特別な思い出、記念に残る体験型プログラムを作成した。撮影プランの中には、芦屋町商工会の商品券を付けたことで、町内を周遊するきっかけを作ることができた。 ・ 情報発信としては、主にあしや体験隊ホームページ、あしや体験隊Instagramで発信を行っているが、申込数が少ないことからPR不足であると考え。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。 ・ 参加者からの要望として撮影後にお祝い膳を提供してくれる場所や、芦屋町で食事をする場所を知りたい等の声があるため、町内事業者と連携したオプションプランも今後検討していく必要がある。 ・ 筑前芦屋だごびーなとわら馬まつりを町内主要施設に展示し、伝統行事のPRを実施した ・ 筑前芦屋だごびーなとわら馬まつり実行委員会と都市整備課と協力して八朔の馬の描かれたマンホール蓋が描かれたカードの申請を行い、マンホールカードを作成した。 	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
					B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

		H30 状況	R1 状況	R2 状況	『芦屋町商工会』 【実施事業：「ファミリーフィッシングin芦屋」の開催】 実施目標：平成26年度から、商工会青年部主催（協力・協賛 遠賀漁協芦屋支所、（公財）日本釣振興会福岡県支部等）により実施している「ファミリーフィッシング in 芦屋」を今年度も6月（海）に開催する。 実施結果：【達成状況：C】 開催するにあたって、新型コロナウイルス感染症拡大の恐れがあるため事業を中止した。			
		A	D	C				
		事業数 1	事業数 1	事業数 1				
		第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ				第1期の達成状況		
		『芦屋港活性化推進室』 【達成状況：A】 ・平成30年に芦屋港活性化推進室を新設し、芦屋港の有効活用について関係者で協議を重ね、芦屋港活性化基本計画を策定した。 ・平成31年に国土交通省より「釣り文化振興モデル港」に指定された。 ・令和2年に福岡県と管理運営に関する基本協定を締結し、芦屋港港湾計画の改訂（一部変更）が行われた。また、福岡県にて社会資本総合整備交付金を活用した5ヵ年事業として、ボートパーク、海釣施設の整備が開始された。 ・令和3年度に、芦屋町にて管理運営方法、官民連携事業（上屋複合施設民間活力導入）、全天候型施設活用方法について調査検討により考え方を取りまとめた。さらに、機運醸成事業や芦屋町観光動向調査を実施することで、海岸線や河川を活かした魅力の創出として芦屋港活性化事業の推進に繋がっている。				状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
		『環境住宅課 環境・公園係』 【達成状況：B】 『環境住宅課 環境・公園係』 ・ラブアース・クリーンアップや町内一斉清掃の実施 令和2・3年度については、コロナウィルス蔓延のため、事業を実施できなかった。				B		
		『芦屋町商工会』 【達成状況：C】 H30においては、青年部主催の「ファミリーフィッシングin芦屋」を開催し、72組103人参加。 R1は芦屋港湾が使用できなかった為、実施ができなかった。 R2とR3は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。						
		H30 状況	R1 状況	R2 状況	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
	釣り人にやさしい町、あしやの創出	A	A	C	【実施事業：「ファミリーフィッシングinアクアシアン」の開催】 実施目標：新型コロナウイルスの感染状況等を注視し、開催の有無について検討を図る。 実施結果：新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、イベント開催は困難な状況であったため未実施	状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
	所管課・係：芦屋町商工会					D	新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、イベント開催は困難な状況であった。	
	芦屋町には年間を通して多くの釣り人が訪れるため、漁協との調整を図りながら、釣り場の整備や情報提供を行い、釣り人の満足度向上を図ります。 一方、禁止区域での釣りやゴミの放置などが問題となっていることから、釣り人のマナー向上に関する取り組みも併せて行います。							
②		事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況		
		H30ならびにR1においては、青年部主催の「ファミリーフィッシングin芦屋」ならびに「ファミリーフィッシングinアクアシアン」の各2回開催する事ができ、参加者の評価もよく、初心者でも楽しく参加する事ができており、目的を達成できたと思われる。ただし、R2、R3においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止によるイベント中止により開催できなかった事が惜まれる。				状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
						C	R2、R3ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止による人流抑制の中、人が集まるイベントが開催できなかった為	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(3) 体験型観光の推進

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	体験型観光商品の資源・人材の発掘 所管課・係：芦屋町観光協会 芦屋町の魅力ある体験資源や実践する人を発掘し、体験型観光商品として提供できるよう推進していきます。また、既に実施している生涯学習講座「あしや塾」のメニューとして組み込むなどの共同実施についても検討していきます。	状況	状況	状況	[実施事業：魅力ある体験型プログラムの創出と実施者の発掘] 実施目標：体験型プログラムを事業所へ提案し試験的に実施してもらう。 実施結果：事業者が実施する体験プログラムをあしや体験隊へ掲載を行った（3プログラム）	A	
		A:2	A:2	D			
	事業数 2	事業数 2	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	
					遠賀中間広域連携プロジェクトとして一市四町の体験型プログラムを作成する「水辺のくに博覧会」が開催され、その中で事業者向けのワークショップが開催となり、新しい体験型プログラムが創出されていたが、コロナ禍により事業が中止となり事業者が体験型プログラムを考える場がなくなった。また、体験プログラム実践者である町内事業者もコロナ禍により自粛したため、新たな体験型プログラムの創出が困難であった。今後は町内事業者を中心にヒアリングを行い、実施可能なものについてはあしや体験隊へ掲載を行う。	B	
②	体験型観光商品の創出及び販路の拡大 所管課・係：芦屋町観光協会 企画した体験型観光商品を、教育旅行や一般旅行、日帰り観光などの用途に合わせて商品化し、旅行会社への営業、町内各施設での案内・情報発信を行い、販路を開拓します。また、芦屋町の体験博覧会などのイベントも検討していきます。	状況	状況	状況	[実施事業：魅力ある体験型プログラムの創出と実施者の発掘] 実施目標：体験型プログラムを事業所へ提案し試験的に実施してもらう。 実施結果： ・事業者と連携した体験プログラムの実施（5プログラム） ・新型コロナウイルス感染症により、福岡県が実施している1市4町の体験プログラムを取りまとめた「水辺のくに博覧会」が中止となり、広く事業者への提案は行っていないが、次年度の水辺のくに博覧会にて参画事業者が増えるよう個別に事業者へヒアリングを行った。	A	
		A:2	A:2	D			
	事業数 2	事業数 2	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	
					・例年、遠賀中間広域連携プロジェクトとして一市四町の体験型プログラムを作成する「水辺のくに博覧会」が開催されていたが、コロナ禍により令和2年度から事業が中止となったため、広域でのPRができなくなった。現在は、あしや体験隊ホームページ、インスタグラムによる周知、町内各所に簡易ポスターを掲示しPRをしているが、参加申し込みが少ないのが現状である。今後はターゲットを絞った情報発信と広域でのPR方法を検討していく必要がある。	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(4) 既存観光施設の整備・活用

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	芦屋海浜公園の整備 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋海浜公園の魅力をさらに高めるため、芝生広場における遊具等の整備・拡充などを行っていきます。	状況	状況	状況	[実施事業：遊具等の整備] 実施目標：必要に応じて、遊具の改修や新設を行う。 実施結果：計画通りに「芦屋海浜公園長寿命化計画」の実施、及び遊具の改修等の実施を行った。	A	
		A:2 C:1	A:2	A:2			
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・まちづくり支援自販機基金を有効活用し、必要に応じて遊具の改修を随時行い利用者の安全性に努めた。 ・令和2年度に策定した「芦屋海浜公園長寿命化計画」を、計画通りに実施していく。	A	
②	夏井ヶ浜はまゆう公園の整備 所管課・係：産業観光課 商工観光係 集客の増加を図るため、現在参画している「恋人の聖地プロジェクト」の効果的な活用（ロゴの使用、広報の際の使用の徹底、グッズの開発販売等）に努めます。 また、風光明媚な景色を引き立てるような夜間照明の設置など、従来の芦屋にない観光スポットとしての魅力形成を図ります。	状況	状況	状況	[実施事業：適正な管理及び効率的な整備] 実施目標：必要に応じて整備を実施していく 実施結果： ・計画通り景観地清掃で草刈りを実施。 ・自販機での愛鍵販売を実施（令和3年度320個：288,000円）。 ・公園使用許可申請受付にて公園利用を適切に実施した。 ・公園入口にあじさいを植栽した。	A	
		A:2	A:2	A			
		事業数 2	事業数 2	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・平成28年度に、敷地を拡大（釜風呂跡地）し展望台及び夜間ライトアップ施設の整備を完了した。 ・平成29年度に、恋人の聖地モニュメント及び愛鍵を設置完了した。 ・必要に応じて樹木剪定等の実施、効率的な整備を検討実施した。まちづくり支援自販機基金を活用していく。	A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

③	城山公園の整備	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	所管課・係：産業観光課 商工観光係	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
	城山公園については、古くから花見の名所として利用されてきましたが、現在の広場や散策路、フェンス等は整備が不十分で、危険な箇所も見られます。観光公園としての今後の方向性及び必要性について検討します。	D	B	A	[実施事業：適正な管理及び効率的な整備] 実施目標：桜など樹木の植替えを検討する。引き続き、樹木剪定等を行い景観を保つ。 実施結果： ・樹木剪定等を行い景観の保持を行った。 ・唐戸交差点側法面保護工事を実施した。	B	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	
				・令和元年に公園全体の整備を検討したが、必要性や費用面等から、全体整備ではなく樹木剪定等を必要に応じ実施していくこととなり、樹木剪定等を行い景観保持を図った。 ・令和3年度、唐戸交差点側法面保護工事を行った。現状の状況把握のため法面工事等調査を実施し、必要時対策の検討を行う。		B	
④	魚見公園の整備	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	所管課・係：産業観光課 商工観光係	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
	魚見公園から梅林公園にかけては高台に位置しており、そこからの眺望や園内の四季折々の花々は魅力的な観光資源です。訪れた人々がゆっくりと安全に園内を見て回れるよう展望所や散策道を整備し、自然公園として観光客の増加を図ります。	A	A	A	[実施事業：適正な管理及び効率的な整備] 実施目標：現在流行っているひとりキャンプで利用できるように検討する。引き続き、樹木剪定等を実施し景観を保つ。 実施結果： 整備基本計画の策定、法面保護工事を行なった。また、景観を保つため樹木剪定等を計画通り実施した。	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	
				・平成30年度、魚見公園に、園路改修・転落防止柵を設置した。 ・令和元年度、梅林公園に、安全対策のため崩落防止工事を実施した。 ・樹木剪定等を行い、景観保持を図った。 ・令和3年、整備基本計画の策定、法面保護工事を行った。今後の公園整備については、基本及び実施設計を計画通りに行う。 ・まちづくり支援自販機基金を活用し、整備等を行う。		A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

⑤	レジャープールアクアシアン	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	所管課・係：産業観光課 商工観光係	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
	海水浴シーズンには毎年多くの観光客が訪れるレジャープールアクアシアンも、建設当初から10数年が経過しており、老朽化が進んでいます。今後は、費用対効果を検証しながら、計画的な維持補修に努めます。	B:1	A:2	A:2	[実施事業：設備・施設の改修] 実施目標：必要に応じて改修等を実施する。 実施結果： ・「芦屋海浜公園長寿命化計画」を計画通り実施した。 ・音響設備を更新した。 ・「芦屋海浜公園長寿命化計画」に基づく「社会資本整備総合交付金」の申請を行った。	A	
		C:1					
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・施設、設備の改修を適宜実施した。 平成30年度に流水プール設備改修工事を実施した。 令和元年度に管理棟部分改修工事を実施した。 令和2年度に流水プール起流ポンプ取替、流水プール自動塩素投入装置取替を実施した。 ・令和2年度、「芦屋海浜公園長寿命化計画」を策定した。 ・令和4年度からは、社会資本整備総合交付金を活用した整備事業も計画通りに実施する。	A	
⑥	国民宿舎マリンテラスあしや	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
	所管課・係：産業観光課 商工観光係	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
	国民宿舎マリンテラスあしやは、町の観光客誘致の拠点の一つです。計画的な施設の整備により快適な宿泊環境を提供し、民間の手法を取り入れたサービスでおもてなしを行います。訪れた観光客に満足していただくことで、リピーターの増加を図っていきます。	A	A:2	A	[実施事業：設備・施設の改修] 実施目標：令和3年度については、大浴場等の大規模改修を実施する。 実施結果：Wi-Fi設置、自動火災報知設備改修工事、トイレ設備等改修工事、大浴場等改修工事（設備・建築）を実施した。	A	
		事業数 1	事業数 2	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・施設の整備・活用のため、改修を適宜実施した。 ・令和元年度に策定した「国民宿舎マリンテラスあしや長寿命化計画」に基づき、引き続き適正な管理を行う。	A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

⑦	洞山・堂山	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
	所管課・係：産業観光課 農林水産係	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
	名勝奇岩を形成し、古くから芦屋町のシンボルとなっている洞山・堂山は一部崩落が進んでおり、保存活動を行っています。洞山・堂山と柏原漁港をあわせたこの一帯は海洋性レクリエーションエリアと漁業エリアに区分し、観光客にとって更なる利便性の向上を図っていきます。	完了	完了	完了		完了 (整備終了)	—	
⑧	はまゆう群生地	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
	所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係	状況	状況	状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
	町を代表する景観地「夏井ヶ浜」には、町花はまゆうが群生しており、開花シーズンには毎年多くの観光客が訪れます。この群生地は、九州における自生の北限として県の天然記念物に指定され、文化的価値も高いことから、計画的な保護・保存に努めていきます。また、周辺には町の遊休地も存在することから、これらの有効活用を図るため、夏井ヶ浜観光エリアとして一体的な整備を図ります。	A	A	A		[実施事業：夏井ヶ浜のはまゆう自生地の管理] 実施目標：夏井ヶ浜のはまゆう自生地の保存のため、専門業者へ委託し、草刈や消毒等を適宜行う。また職員による巡回を随時行い、保護に努める。 実施結果：夏井ヶ浜のはまゆう自生地の保存のため、専門業者へ委託し、草刈や消毒等を適宜行えた。また、職員による巡回を随時行い、保護育成ができた。	A	
第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ					第1期の達成状況			
					状況 状況が「C」「D」の場合の理由			
					A			
第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ					第1期の達成状況			
					状況 状況が「C」「D」の場合の理由			
					A			
・県の天然記念物に指定されている「はまゆう自生地」の保全について、専門業者による管理や職員の巡回など、自生地の保全に関し適切な管理を行うことができた。								

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略5：観光まちづくりを担う人材と組織づくり

(1) 観光まちづくりを担う組織の強化及び連携

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30 状況	R1 状況	R2 状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	観光まちづくりを推進する主体の構築 所管課・係：産業観光課 商工観光係 観光協会や商工会、行政、事業者、各種団体、住民からなる「観光まちづくり推進プロジェクト」を結成します。観光協会、商工会及び行政が事務局となり、本構想の推進の基盤となっていきます。	B	A	A	[実施事業：観光あしや協議会の推進] 実施目標：令和3年度のブランド認定を実施する。観光パンフレットの刷新を検討する。 実施結果： 新型コロナウイルス感染症の影響により、書面決議が主となったが、ブランド認定及び金賞選定を実施することができた。また、観光パンフレットの刷新を実施した。	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ ・平成29年度に、「観光まちづくり推進プロジェクト」を再構築した「観光あしや協議会」を設立した。全体会にて観光基本構想を推進し、実行部会にて観光基本構想のリーディングプロジェクトを検討・実施した。全体会議ではインバウンド対策に関する協議、実行部会ではブランド認定制度及び情報発信について協議を行った。 ・令和元年に部会の見直しを行い、全体会・役員会・国内外交流部会・芦屋産品振興部会とし、事業を実施した。 ・令和4年度に第2期芦屋町観光基本構想を策定するため芦屋町観光基本構想推進委員会を設置し、計画の策定及び評価等を実施していく。事業の推進方法について「観光あしや協議会」の在り方を見直す必要がある。	第1期の達成状況 状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
②	「観光まちづくり推進」についての評価及び改善の場の創出 所管課・係：産業観光課 商工観光係 本構想の実施状況・進捗の管理、評価を行い、戦略・施策の改善を実施する場を「観光まちづくり推進プロジェクト」内で定期的に実施していきます。	A	A	A	[実施事業：観光基本構想の評価の実施] 実施目標：構築した評価制度を活用し、令和2年度事業評価及び令和3年度事業の洗い出しを実施する。 実施結果：計画どおり令和3年度事業評価及び令和4年度事業の洗い出しを実施した。	A	
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ ・平成29年度に、「観光まちづくり推進プロジェクト」を再構築した「観光あしや協議会」を設立した。平成30年度に、観光あしや協議会評価部会による観光基本構想の評価制度を構築し、各事業の検証を行うこととした。 ・事業評価及び事業の洗い出しを実施し、構築した評価制度を活用した。 ・令和4年度に第2期芦屋町観光基本構想を策定するため芦屋町観光基本構想推進委員会を設置し、計画の策定及び評価等を実施していく。事業の推進方法について「観光あしや協議会」の在り方を見直す必要がある。	第1期の達成状況 状況	状況が「C」「D」の場合の理由	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 住民のおもてなし意識の向上・活動団体の共同

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	住民のおもてなし意識の向上 所管課・係：産業観光課 商工観光係 住民のおもてなし意識向上を図るため、先進地視察や研修などの実施、また意識啓発のための刊行物配布やセミナーの開催などについて検討します。	状況	状況	状況	[実施事業：先進地視察及び研修の検討・実施] 実施目標：住民のおもてなし意識向上を図るための研修を検討、実施する。 実施結果：住民のおもてなし意識向上を図るための研修を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。	C	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施できなかった。
		A	B	C			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	状況が「C」「D」の場合の理由
					・各協会や観光協会と協議を実施、また、平成30年度に観光ガイドの先進地視察研修を実施した。 ・あしやナビガイドブックを掲載している事業所へガイドブックを配布し、観光客からの問い合わせに事業所にも対応してもらえるようにした。実際に観光客からの問い合わせに対応している事業所も出てきている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で事業所や住民への研修が実施できていないため、効果的な方法を検討し実施していく。	B	
②	活動団体の共同を推進 所管課・係：産業観光課 商工観光係 町内では、各種ボランティア団体や同好会による活動、スポーツ団体による競技会・イベントなどの催しが数多く実施されています。このような団体との連携や団体間における共同の可能性について探り、観光での活用を検討していきます。	状況	状況	状況	[実施事業：「砂像展」及び「さわらサミット」での協働] 実施目標：砂像展において、各種団体への砂像制作を依頼していく。 実施結果：新型コロナウイルス感染症の影響で砂像展が実施できず、事業の実施ができなかった。令和4年度以降イベント開催時には、各種団体との連携も引き続き依頼することとしている。	C	新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施できなかった。
		B	B	D			
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況	状況が「C」「D」の場合の理由
					・「砂像展」及び「さわらサミット」において各種団体との協働に取り組んだ。 ・「砂像展」は砂像制作及び海外彫刻家の通訳協力との協働を行った。今後も依頼継続予定。 ・「さわらサミット」はイベント時の出店協力を行った。今後については、イベントの実施状況により協働内容の検討が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベント実施ができなかった際は、事業も実施できなかった。	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略6：効果的な情報発信の実施

(1) 親しみやすいイメージ。わかりやすい案内の整備

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30 状況	R1 状況	R2 状況		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	観光キャッチフレーズ・ロゴ・キャラクターの設定と、それを活用した案内・サインの整備 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町観光のイメージを表現する親しみやすいキャッチフレーズや、ロゴ、キャラクターを作成し、各種広報において発信していきます。また、これらを活用し、観光客にとってわかりやすい情報案内板やサイン等の整備を進めていきます。	A	A	D	[実施事業：観光案内板等へのアッシーの活用検討・実施] 実施目標：既存及びリニューアルする観光案内板等に「アッシー」の活用を検討・実施する。 実施結果：庁舎前の既存の観光案内看板を最新の情報に更新し、2次元コードをつけて利便性の向上を図った。	B	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・魚見公園及び狩尾岬周辺等の観光案内板を「アッシー」を活用したものにリニューアルした。 ・庁舎前の既存の観光案内看板を最新の情報に更新し、2次元コードをつけて利便性の向上を図った。 ・芦屋港レジャー港化の整備の実施状況により、再度内容を更新する必要がある。案内看板のタイミングについて情報収集し、内容整理を行う。	B	
②	観光案内機能の強化 所管課・係：産業観光課 商工観光係 「あしやまの駅」などと連携することで、町内に気軽に立ち寄れる観光案内の場所を増やし、観光客にとって優しい町を目指していきます。また、既存の「あしやまの駅」のさらなる活用を図っていきます。	A:1 B:1	B:2	D:2	[実施事業：観光案内所設置] 実施目標：仮設観光案内所を設置する場合は、役場職員も参加する。砂像展では、観光案内マップを観光協会と協力し掲示等を行う。 実施結果：【達成状況：C】 あしやナビ協議会にて必要に応じてイベント会場で観光案内所を設置することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等が中止となり実施できなかった。令和4年度以降のイベント開催時は設置を予定している。 [実施事業：あしやナビガイドブックの更新・配布] 実施目標：新型コロナウイルス感染症の今後の収束状況をみながら、引き続き、あしやナビガイドブックを更新して活用する。概要版については、費用対効果を十分検証し、必要性があると判断した場合は作成・配布することとする。 実施結果：【達成状況：B】 あしやナビ協議会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったが、今後の進め方について観光協会と協議を行った。あしやナビガイドブックについて、引き続き設置を行い、QRコードを活用し詳細ホームページへ誘導している。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が実施できなかった。
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況	
					・平成27年に「あしやまの駅」から「あしやナビ協議会」に変更となり、観光基本構想の取り組みを継続していくこととなった。 ・観光案内所設置について、あしやナビ協議会（事務局は観光協会）にて必要に応じて仮設の観光案内所を設置し、観光PRを行った。新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となった際は実施できなかったため、状況に応じて対応していく必要があり、今後の課題となっている。 ・平成29年度にあしやナビ協議会にて「あしやナビガイドブック」を作成し毎年更新を行なった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により協議会の開催ができず更新ができなかった際は、引き続きの使用となった。事業の実施は、新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら検討を行い、実施する際は概要版の必要性・活用方法等について、費用面も含めて検討していく必要がある。	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

(2) 町の知名度の向上

No.	展開する取り組み項目			年度		令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
	事業概要			H30	R1		R2	状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	雑誌、新聞、テレビ等を活用した戦略的な観光情報の発信 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町の知名度向上を図るため、北九州市や福岡市などの情報誌や新聞等のメディアを中心に、情報発信を積極的に行い、地域のイベントや地域商品PRなどを進めています。			状況	状況	状況	[実施事業：テレビを活用したPR] 実施目標：北九州地区観光協議会での協議結果に基づいてテレビを活用した観光PRを実施する。 実施結果： ・北九州地区観光協議会で観光PRを実施した。 番組：RKBオンラインに動画配信（RKB番組「まちブリ」内のコーナーにて紹介） 取材対象：海沿いのサイクリングロード、とと市場 配信日：令和3年10月15日（金）～ ・筑前玄海地域観光推進協議会で観光PRを実施した。 オンラインツアーの実施：HISに業務委託し、自治体毎にオンラインツアーを計画・実施した。 実施日時：令和4年3月21日（月・祝）14：40～15：50 参加者：6名 紹介：釜の里・とと市場・はまゆう公園・サイクリングロード等	A	
				事業数	事業数	事業数	第1期の達成状況		
				1	1	1	第1期の達成状況 状況 状況が「C」「D」の場合の理由		
②	インターネット等を活用した情報の拡充及び連携 所管課・係：企画政策課 地方創生推進係 観光協会や町ホームページ等での情報の充実、タイムリーな情報の発信を実施して、ホームページのアクセス向上と観光客の増加を図ります。また、近年普及しているフェイスブックやツイッターなどのソーシャルメディア（SNS）を活用した発信も実施し、双方向でのコミュニケーションの実施を図っていきます。			状況	状況	状況	[実施事業：戦略的情報発信プロジェクト] 実施目標：各SNSの運用を明確化し、地域おこし協力隊とも協力することで、町の魅力をSNSや観光情報サイトで発信する。 また、投稿・更新頻度を上げるとともに、観光情報サイト及びSNS間で連携することで、効果的な情報発信を行う。 実施結果：地域おこし協力隊と協力し、各SNSの運用方法を明確化した。 観光情報サイトはあまり更新できなかったが、各SNSは定期的に投稿した。 また、町公式SNSと協力隊公式SNSで連携し、効果的な情報発信に努めた。	B	
				事業数	事業数	事業数	第1期の達成状況		
				1	1	1	第1期の達成状況 状況 状況が「C」「D」の場合の理由		

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

③	新たな情報発信の仕掛けづくり	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況
	所管課・係：企画政策課 地方創生推進係	状況	状況	状況		状況
	北九州フィルムコミッションとの連携を検討し、映画やドラマのロケーションの舞台となるよう、誘致や受入を推進するなど、新たな情報発信の仕掛けづくりを検討し、芦屋町の知名度の向上を図ります。	B	C	B	[実施事業：映画撮影を活用した情報発信] 実施目標：新たな誘致に繋げるため、北九州フィルムコミッションとの連携を検討する。また、ロケ地情報の発信は引き続きSNS等の運用を整理のうえ実施していく。 実施結果：北九州フィルムコミッションとは連携できていない。また、SNS等の運用は整理したが、ロケ地情報の発信はあまり実施できていない。芦屋町観光協会HPや町公式HPには、引き続きロケ地マップ情報を掲載している。	C
④	ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況
	所管課・係：ボートレース事業局 企画課企画宣伝係	状況	状況	状況		状況
	町外から多くの来場者が訪れるボートレース芦屋を活用し、芦屋町の観光情報を発信するなど、観光PRの場としての活用を検討します。	A	B	B	[実施事業：ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略] 実施目標： ・町のPR動画を場内で放映する。【※放映可能な期間のみ】 ・町の観光情報パンフレット等を場内に設置する。【※掲出可能な時期のみ】 ・「芦屋町長杯」で町の特産品などをPRする。 【6/20～25 町政施行130周年記念 第12回芦屋町長杯争奪戦にて実施】 ・町の観光スポットをイベントや告知媒体で紹介する。 ・場外でのPRイベントで併せて町をPRする。 ・YouTube・SNSを活用し、町の観光スポット・特産品・イベント等を紹介する。 ・Moovi芦屋と連携し、観光情報の発信を行う。 実施目標結果： ・町PR動画及び観光情報パンフの設置 モーヴィ芦屋付近に芦屋町PRブースを設置し、PR動画及び観光情報パンフによりPRを行った。（動画放映はモーヴィ営業日のみ/約110日実施） ・「芦屋町長杯」で町の特産品などをPRする。 各種キャンペーンにより特産品プレゼントを実施した。 ・芦屋町PRブース設置（ふるさと納税・BR芦屋歴史VTR等の展開） ・来場者キャンペーン（応募件数：527件/当選者数：50名） ・Twitterキャンペーン（リツイート数：4,622件/当選者数：10名） ・町の観光スポットをイベントや告知媒体で紹介する。 ボートレース芦屋YouTubeにて、町内を巡るロケ動画を撮影し配信した。（視聴回数：約1.5万回） ・場外でのPRイベントで併せて町をPRする。 コロナ感染対策の影響により未実施。 ・YouTube・SNSを活用し、町の観光スポット・特産品・イベント等を紹介する。 ・芦屋町PRブース設置（ふるさと納税・BR芦屋歴史VTR等の展開） ・来場者キャンペーン（応募件数：527件/当選者数：50名） ・Twitterキャンペーン（リツイート数：4,622件/当選者数：10名） ・ボートレース芦屋YouTubeにて、町内を巡るロケ動画を撮影し配信した。（視聴回数：約1.5万回） ・モーヴィ芦屋と連携し、観光情報の発信を行う。 モーヴィ芦屋付近に芦屋町PRブースを設置し、PR動画及び観光情報パンフによりPRを行った。 （動画放映はモーヴィ営業日のみ/約110日実施）	A
ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況				
		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	B		
④	ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略	H30	R1	R2	令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況
	所管課・係：ボートレース事業局 企画課企画宣伝係	状況	状況	状況		状況
	町外から多くの来場者が訪れるボートレース芦屋を活用し、芦屋町の観光情報を発信するなど、観光PRの場としての活用を検討します。	A	B	B	[実施事業：ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略] 実施目標： ・町のPR動画を場内で放映する。【※放映可能な期間のみ】 ・町の観光情報パンフレット等を場内に設置する。【※掲出可能な時期のみ】 ・「芦屋町長杯」で町の特産品などをPRする。 【6/20～25 町政施行130周年記念 第12回芦屋町長杯争奪戦にて実施】 ・町の観光スポットをイベントや告知媒体で紹介する。 ・場外でのPRイベントで併せて町をPRする。 ・YouTube・SNSを活用し、町の観光スポット・特産品・イベント等を紹介する。 ・Moovi芦屋と連携し、観光情報の発信を行う。 実施目標結果： ・町PR動画及び観光情報パンフの設置 モーヴィ芦屋付近に芦屋町PRブースを設置し、PR動画及び観光情報パンフによりPRを行った。（動画放映はモーヴィ営業日のみ/約110日実施） ・「芦屋町長杯」で町の特産品などをPRする。 各種キャンペーンにより特産品プレゼントを実施した。 ・芦屋町PRブース設置（ふるさと納税・BR芦屋歴史VTR等の展開） ・来場者キャンペーン（応募件数：527件/当選者数：50名） ・Twitterキャンペーン（リツイート数：4,622件/当選者数：10名） ・町の観光スポットをイベントや告知媒体で紹介する。 ボートレース芦屋YouTubeにて、町内を巡るロケ動画を撮影し配信した。（視聴回数：約1.5万回） ・場外でのPRイベントで併せて町をPRする。 コロナ感染対策の影響により未実施。 ・YouTube・SNSを活用し、町の観光スポット・特産品・イベント等を紹介する。 ・芦屋町PRブース設置（ふるさと納税・BR芦屋歴史VTR等の展開） ・来場者キャンペーン（応募件数：527件/当選者数：50名） ・Twitterキャンペーン（リツイート数：4,622件/当選者数：10名） ・ボートレース芦屋YouTubeにて、町内を巡るロケ動画を撮影し配信した。（視聴回数：約1.5万回） ・モーヴィ芦屋と連携し、観光情報の発信を行う。 モーヴィ芦屋付近に芦屋町PRブースを設置し、PR動画及び観光情報パンフによりPRを行った。 （動画放映はモーヴィ営業日のみ/約110日実施）	A
ボートレース芦屋を活用した情報発信戦略	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ	第1期の達成状況				
		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	A		
		事業数	事業数	事業数		
		1	1	1		
		第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ				
		・令和2年度よりモーヴィ芦屋付近で芦屋町PRブースを設置することで、町内周遊を図った。（芦屋町観光情報冊子、マリンテラスあしや・芦屋釜の里冊子、芦屋町海浜公園チラシ等） ・各種キャンペーン（Twitterキャンペーン、場内抽選会等）にて、特産品を賞品とすることで魅力発信を行った。			A	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)

C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

基本戦略7：他地域との連携

(1) 近隣市町村との広域観光の更なる強化

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況	
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由
①	筑前玄海地区での連携強化 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町、岡垣町、宗像市、福津市、古賀市等で連携実施している「玄海地区観光推進協議会」での連携を強化し、各市町村間における周遊のさらなる促進を図ります。	A:1 B:1	A:2	A:1 D:1	事業数：1（事業を統合した） [実施事業：筑前玄海地区観光推進協議会での連携による観光PR] 実施目標：筑前玄海地域観光推進協議会において作成した「ご朱印で巡る筑前玄海エリアゆる旅ガイド」を更に活用し、各市町村間における回遊客増に繋げていく。 新型コロナウイルス感染症の今後の収束状況をみながら、筑前玄海地域観光推進協議会において協議し、筑前玄海地区外でのイベントに出展する。 実施結果： ・SNS（Instagram）を活用した情報発信：担当制で投稿をおこなった ・オンラインツアーの実施：HISに業務委託し、自治体毎にオンラインツアーを計画・実施した。 実施日時 令和4年3月21日（月・祝）14：40～15：50 参加者 6名 紹介 釜の里・とと市場・はまゆう公園・サイクリングロード等	A	
		事業数 2	事業数 2	事業数 2	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ ・[周遊マップの周知・活用]と[PRイベントの実施]の2つの事業を実施したが、令和3年度から統合して[筑前玄海地区観光推進協議会での連携による観光PR]を実施した。 ・筑前玄海地域観光推進協議会において作成した「ご朱印で巡る筑前玄海エリアゆる旅ガイド」を活用するとともに、筑前玄海地区外のイベントに参加することで観光PRを行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベント参加等ができなかった際は、協議会にてオンラインツアーを計画・実施を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の今後の収束状況をみながら、観光PRの方法等を協議会において協議し実施する。	第1期の達成状況	
						状況	状況が「C」「D」の場合の理由
						B	
②	北九州地区での連携強化 所管課・係：産業観光課 商工観光係 芦屋町、北九州市、中間市、行橋市、みやこ町、岡垣町、豊前市、荏田町、築上町等で連携実施している「北九州地区観光協議会」での連携を強化し、各市町村間における周遊のさらなる促進を図ります。	A	A	A	[実施事業：北九州地区観光協議会での連携による観光PR] 実施目標：北九州地区観光協議会での協議結果に基づいてテレビを活用した観光PRを実施する。 実施結果：北九州地区観光協議会での協議結果、以下のとおりテレビ等を活用した観光PRを実施した。 番組：RKBオンラインに動画配信（RKB番組「まちブリ」内のコーナーにて紹介） 取材対象：海沿いのサイクリングロード、とと市場 配信日：令和3年10月15日（金）～	A	
		事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ ・北九州地区観光協議会での協議結果に基づいて、テレビを活用した観光PRを実施した。 ・取材対象となった店では、テレビ出演後には来客数増となり効果はみられた。	第1期の達成状況	
						状況	状況が「C」「D」の場合の理由
						A	

達成状況 AA：（当初の計画を前倒しで推進している） A：（計画どおり推進している） B：（一部を除き当初の計画どおり推進している）
 C：（全体的に当初の計画から遅れている） D：（ほとんどが未着手である）

(2) 芦屋町にまつわる都市との交流

No.	展開する取り組み項目 事業概要	年度			令和3年度実施結果	令和3年度目標の達成状況		
		H30	R1	R2		状況	状況が「C」「D」の場合の理由	
①	芦屋町にゆかりの地域との連携・交流の推進 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係 お茶の生産地や芦屋町以外のイカで競合する地域などとの連携・交流を検討し、マスメディアでの仕掛けづくりやイベントの共同参加など、他地域との相乗効果を図っていきます。	状況	状況	状況	【実施事業：芦屋釜とお茶にかかわる県産品との連携】 実施目標：芦屋釜の里の茶会や呈茶に八女茶を使用する機会を設ける。あわせて、県と連携し、県産品を活かしたイベント等の取り組みを検討する。 実施結果： ・立礼席で八女（星野）抹茶を使用したアイスクリームを夏季限定（7/6～8/7 ※8/8から緊急事態宣言により休園）で提供した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う茶会中止のため、茶会で八女茶を使用することができなかった。 ・県と連携した県産品を活かしたイベント等の検討には至らなかった。	B		
		A	A	B				
	事業数 1	事業数 1	事業数 1	第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ		第1期の達成状況		
					福岡県主催事業の「アジアお茶まつり」への協賛等を実施するとともに、夏季限定で八女（星野村）抹茶を使用した抹茶アイスクリームの提供等により、茶に関わる地域との連携・交流の推進に努めた。 しかし、県特産品をいかしたイベント等の実施には至らなかった。 芦屋釜の里のイベント等で県産品の活用を検討し、さらなる連携・交流を推進する必要がある。	B	状況が「C」「D」の場合の理由	
②	親善都市「佐野市」との観光連携の強化 所管課・係：芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係、生涯学習課 社会教育係 親善都市「佐野市」との相互訪問やイベント共同出展、食の交流など交流都市として、観光での活用・連携を検討します。	H30	R1	R2	令和3年度実施結果		令和3年度目標の達成状況	
		状況	状況	状況			状況 状況が「C」「D」の場合の理由	
		A	A	A	『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』 【実施事業：芦屋町・佐野市文化交流事業】 実施目標：行政間の芦屋町・佐野市文化交流事業は実施しない。民間レベルでの文化交流の取り組みについて支援を行う。 実施結果：【達成状況：D】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民間レベルでの文化交流の取り組みは行われなかった。民間レベルでの文化交流は行われておらず、今後も再開の見込みはない。コロナ禍の影響もあり、今後の再開見込みもないことから、担当課としては本事業の必要性はないものとする。 （令和3年度をもって本事業は廃止）			新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため事業の廃止や中止となった。
	事業数 1	事業数 1	事業数 1			C		
		H30	R1	R2	『生涯学習課 社会教育係』 【実施事業：佐野市との青少年交流事業】 実施目標：親善都市「佐野市」の小中学生を芦屋町に招いて、芦屋町の小中学生とともに2泊3日（8/10～12）の宿泊研修を実施する。 ※保護者説明会（7/20）、2回の事前研修（7/31、8/7）、事後研修（8/28）、報告会（9/11）を併せて実施する。 実施結果：【達成状況：C】 芦屋町での本研修を2泊3日（8/10～12）で実施予定であったが、コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。			
	状況	状況	状況					
	A	A	C					
	事業数 1	事業数 1	事業数 1					

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
C：(全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)

			第1期の達成状況	
第1期芦屋町観光基本構想（平成25年度～令和3年度）のまとめ			状況	状況が「C」「D」の場合の理由
		<p>『芦屋釜・歴史文化課 芦屋釜の里・歴史の里係』</p> <p>【達成状況：B】 平成27年度から令和元年度まで親善都市「佐野市」と文化交流事業（芦屋町・佐野市鑄金作品交流展など）を実施し、芦屋町にゆかりの地域との連携・交流に努めてきた。 当初計画していた5か年の交流事業が完了したこと、先方の事情（令和元年台風第19号による被害に伴う、被災者の生活再建支援や公共施設の復旧などに注力）により、令和元年度で、佐野市との文化交流事業は終了することとした。</p> <p>『生涯学習課 社会教育係』</p> <p>【達成状況：B】 ・青少年交流事業において、芦屋町と佐野市を相互訪問し交流することにより、相互理解を深めるとともに、シビックプライドを育てる機会とした。 ・青少年交流事業は小中学生の健全育成を目的とした事業であり、観光面での交流、連携の実施は難しいと考える。</p>	B	

達成状況 AA：(当初の計画を前倒しで推進している) A：(計画どおり推進している) B：(一部を除き当初の計画どおり推進している)
 C: (全体的に当初の計画から遅れている) D：(ほとんどが未着手である)